

## 一般財団法人武田計測先端知財団

### 2021 年度事業報告

(2021 年 4 月 1 日から 2022 年 3 月 31 日まで)

2021 年の財団活動は新型コロナウイルス感染症予防のため大きな影響を受けたが、自宅での作業やオンラインミーティングなどを活用し、以下のような実績を上げることができた。

#### 1. 顕彰事業

##### 1.1 ヤング武田賞

2019 年度ヤング武田賞の受賞者の一人はモンゴル在住のバットボールド・ガンバット (Batbold Ganbat) 氏であったが、2020 年 3 月に予定していたヤング武田賞授賞式を中止したため、バットボールド氏に表彰状と盾を送ることになっていた(賞金は電子送金済み)。ところが、新型コロナウイルスのパンデミックが発生し、モンゴルへの宅配便がストップしてしまった。2020 年 3 月から、新型コロナウイルスの感染状況を見ながら、国際宅配便を使う機会をうかがっていたが、2022 年になってもモンゴルへの国際宅配便はストップしたままだった。そこで、2014 年の国際政策対話にモンゴル代表として参加したダムディンバイヤー・ダムディンスーレン(Damdinbayar Damdinsuren、当時モンゴル国立大学 TLO 部長)氏に相談したところ、モンゴル専門の運送業者(セントラルエクスプレス・ライン社、セ社)を紹介してくれた。そこでセ社に依頼して、賞状と盾をウランバートルのセ社支店に送り、バットボールド氏にセ社支店まで取りに来てもらうことにした。その結果、賞状と盾は本年 1 月 25 日に無事ウランバートルのセ社支店に到着し、2 月 12 日、郊外に住んでいたバットボールド氏がウランバートルを訪れて受け取った。新型コロナウイルスのパンデミックのため、賞状と盾の送付に約 2 年を費やしてしまった。

#### 2. 普及事業 I

##### 2.1 武田シンポジウム2020の販売

財団編、黒田玲子、高橋恒一、中釜斉、唐津治夢著の書籍として丸善プラネット社から 2020 年 10 月に出版した『ここまで来ました』の丸善書籍流通ルートによる販売を継続した。

##### 2.2. 財団活動記録の販売

財団編の書籍として丸善プラネット社から 2020 年 12 月に出版した『武田計測先端知財団の活動記録』の丸善書籍流通ルートによる販売を継続した。

#### 3. TTM-D

月に 1 回のペースで財団スタッフのミーティングとして TTM-D を開催した。自分が関心を持っていることについて発表し、スタッフで議論し情報を共有した。

テーマは、添付参照。

#### 4. ウィークエンド・カフェ・デ・サイエンス

科学博物館のサイエンスコミュニケーター養成講座修了生の有志を中心として開催している。新型コロナ感染対策のため、Zoom を使ったオンライン開催を行っている。

財団は、運営資金の補助と毎月の定例会での議論への参加を主な支援として行なった。

#### 5. 財団 Web の維持

ヤング武田賞などの財団活動の記録の公開を維持・継続するため、2030 年までを目途に Web サーバースペースのレンタルを継続する。具体的には、WEcafe 事務局にレンタル料の毎年の支払いを依頼した。

#### 6. 総合研究奨励会への業務委託

2023 年 1 月 31 日をもって財団を解散する予定であるが、その間、会計業務を中心に一般財団法人総合研究奨励会に業務委託をした。

2020 年 5 月に会計データを渡して、実際の業務委託を開始したが、2021 年度でもこれを継続した。

TTM-D 2021 年度テーマ一覧

年月日	テーマ	担当
2021/4/13	動脈硬化*及び COVID19**対策の食事	嶋志田
2021/5/18	パソコンとの付き合い 40 年を振り返る	相崎
2021/6/15	フォッサマグナ	禿
2021/7/20	貨幣と MMT	赤城
2021/8/17	免疫とアポトーシス	大戸
2021/9/14	仏像の魅力	宮島
2021/10/19	プログラマの仕事	河原林
2021/11/16	危機を乗り越えた歴史から未来を構想する	嶋田 一義
2021/12/14	日本列島の成り立ち	禿
2022/1/18	プラットフォーム・ビジネスがもたらす資本主義と民主主義の危機	西村 吉雄
2022/2/15	バイオバンクと「生活者の富と豊かさ・幸せの増大」の関係	池田 順子
2022/3/15	中央構造線	禿